



伊万里市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とされる気候変動は、世界各国に洪水や干ばつなどの自然災害を頻発させ、もはや「気候危機」と言うべき状況となっています。

2015年に合意されたパリ協定では、世界共通の目標として「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃よりも十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること」が掲げられ、この目標の達成に向け、2050年までに二酸化炭素などの排出量を実質ゼロとする必要があるとされています。

伊万里市には、「鍋島藩窯 大川内山」をはじめとする歴史と風土に育まれた特色ある美しい景観や、生きている化石と呼ばれる「カブトガニ」など希少な動植物が生息する豊かな自然環境が存在します。

これら先人から受け継いだ歴史と伝統、自然環境を守り、引き継いでいくためには、私たち一人ひとりが地球環境に強い関心を持ち、脱炭素社会の実現に向けて取組を進めることが重要です。

伊万里市は、環境都市像である「人と自然を未来につなぐ自然共生都市伊万里」を目指し、市民や事業者、行政など多様な主体の協働により、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロに向け挑戦することをここに宣言します。



iMAR!

令和7（2025）年3月3日

伊万里市長 深浦弘信